

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	動態X線撮影を用いた心胸郭比（cardio-thoracic ratio: CTR）に関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2026年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院で動態X線撮影を施行された患者さん		
④ 対象期間	2022年3月1日 から 2022年11月30日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一外科		
⑦ 研究責任者	氏名	小林大河	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、既往歴、現病歴、動態X線画像、胸部X線画像、CT画像、心エコー検査、肺機能検査		
⑨ 研究の概要	<p>胸部単純X線写真を用いた心胸郭比（cardio-thoracic ratio: CTR）の測定は、心拡大の簡便な指標として古くから日常診療で頻用されています。しかし、CTRは患者さんの体格や体位、吸気量によっても値が大きく左右される指標です。日常診療では撮影時に吸気不足となってしまうことがしばしば見られますが、その際には心拡大傾向の評価や前回との比較が困難となります。また、心臓の最大横径は心拍の影響を受けている可能性があるため、CTRは心拍によって変化している可能性もあります。しかし、これまで、これらの呼吸や心拍によるCTRへの影響は検討されていないため、評価の参考とできる指標が存在していませんでした。KONICA MINOLTA社の動態X線撮影は、呼吸をしながらX線撮影をすることで胸腔と肺の癒着の評価を行うことや、もしくは呼吸を止めて撮影することで肺血管拍動と思われるシグナルを検出し、肺動脈血栓塞栓症の有無を評価できる可能性があり、それらの目的で臨床応用され始めています。当院では胸部X線の領域について主に肺術前の胸腔癒着の評価を目的として、2022年3月より本格的に臨床での運用を開始しました。手術入院時もしくは術前検査入院時に、胸腔の癒着が懸念される患者さんにおいて癒着の有無の評価を行う目的で撮影を行っています。</p> <p>本研究では、KONICA MINOLTA社の動態X線撮影を用いて、呼吸や心拍によるCTRの変動を評価し、変化の最大量や平均値、呼吸</p>		

	<p>による値の推移など、その特性を評価します。それによって吸気不足によって起こりうる誤差などの正確な情報を収集することを目的とします。また、測定結果を用いて各症例における吸気不足の際のCTRの基準値が予測可能かを評価し、予測値を算出することで通常の単純X線撮影においても吸気不足時の心拡大傾向の有無について、現在より高い精度で評価できるかを検討します。</p>			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2023年 1月 17日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません。なお、今回使用する医療機器メーカーを含め、本研究に関連する企業からの寄付金の受け入れはありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：小林大河			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285